

あなたのちょっとした手助けが 障がいのある人の安心につながります。

ヘルプカードとは

障がいのある方の中には、内部障がいや発達障がい・難病の方など、援助や配慮を必要としていることが外見から分からない人、自分から「困った」と伝えることが苦手な人がいます。

緊急連絡先や必要な支援内容などが記載されたこのカードは、障がいのある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障がいへの理解や支援を求めやすくするためのものです。

「困っているようだけれど、どう支援したら良いか分からない…」と、思ったことはありませんか？

役場の福祉課で配布しています

障がいのある人が 困っているのを見かけたら…

「どうしましたか?」、「お手伝いしましょうか?」などと声をかけてください。

相手に伝わっているかを確認しながら、ゆっくりお話ししてください。

ヘルプカードを持っていたら、その内容について支援や配慮をお願いします。

カードの記載内容は、障がいのある人一人一人違います。



こんなとき、ちょっとした手助けが助かります！

■ 障がいのある人は、こんなことに困っています ➡ ◎ こんな手助けをお願いします

(身体障がいのある方)

・車椅子の方が、スーパーなど買い物先で高い場所の物が取れずに困っているとき	➡	○「お取りしましょうか。」と声をかけ、お手伝いしてください。
・耳の聞こえが悪く、駅の構内や電車・バスの車内アナウンスなど聞き取れないとき（事故による緊急放送など）	➡	○筆談や大きな声でゆっくり説明をお願いします。
・白杖を持つほどでは無いけれど、目が悪く案内板の文字が読みづらいとき	➡	○内容を読み上げてください。

(知的障がい、発達障がいのある方)

・一度にたくさん質問されると、どの質問に対して返事したら良いか分からなくなります。	➡	○分かりやすい言葉で、順番に質問してください。
・機械（交通機関切符の自動販売機やATM）の操作ができずに困っているとき	➡	○一緒に操作をしてもらえると助かります。または、近くの係員を呼んでください。
・間違っただけをした時に、叱られたり、注意をされてもどうしたら良いかが分からずに困っているとき	➡	○本来、やるべきことを具体的に分かりやすい言葉で伝えてください。
・人の目を見て話すことが苦手で、緊張してしまいます。	➡	○正面でなく、横に立つなど、視線を外して話をしてください。身振り手振りを交えて話すと分かりやすいです。

(病気やその他障がいがある方)

・騒がしい場所など、刺激が多くて疲れてしまったとき	➡	○困っているようなら、声をかけて休憩できる場所を案内してください。
---------------------------	---	-----------------------------------